

NAVIサーブル・シンガポールキャンプ及び

マレーシアPENANG POWIIS Fencing Championship 2016報告書

報告者 本間淳一、津江三喜雄

1, 派遣期間 平成28年10月18日(火)～25日(火) 7泊8日

2, キャンプ地 シンガポール Z-Elite Fencers Academy
293 Toa Payoh Lorong 6 #04-01 SAFRA

3, 出場大会 PENANG POWIIS Fencing Championship 2016
試合会場 Prince of Wales Island International School
参加国 マレーシア シンガポール インドネシア 日本
総参加者数 226人

10月22日(土) 女子U-15サーブル個人 参加者 7人
同日 男子サーブルオープン個人 参加者 16人
10月23日(日) 男子U-15サーブル個人 参加者 11人
同日 女子サーブルオープン個人 参加者 9人

4, 派遣選手名 (全国中学生フェンシング選手権大会上位入賞者)

男子	加藤 響	愛知工業大付属中学校	女子	長崎 昇子	合川Fスポーツ少年団
男子	西田 亮	秋田市ジュニアフェンサーズ	女子	安部 聖美	秋田市Jrフェンサーズ
男子	須藤 嶺央	法政大学第二中学校	女子	佐藤 めるし	秋田市Jrフェンサーズ
男子	坪 颯登	青森ジュニアクラブ	女子	種田 悠希	三島フェンシングクラブ

5, 引率 団長 本間 淳一 総務 津江 三喜雄

6, 日程

日付	時間(現地)	
10月18日 (火)	7:15	羽田空港集合 国際線ターミナル3階 Z団体カウンター集合
	9:15	事前に協会から振り込まれた現地滞在費分¥30000を集金
	15:20	羽田発 (SQ-631便) (約7時間5分) シンガポール・チャンギ国際空港着 到着ロビーのGround Transport Deskに行く 送迎バスにてホテル移動

	18:30	ホテル (Days Hotel Singapore) 全員で夕食/買い物
19日 (水)	7:00 11:00 12:00~18:00 18:30~21:00	起床 準備 朝食 用具を持ってホールに集合 徒歩移動 男女共に練習 昼食 全員で夕食/買い物/ミーティング
20日 (木)	7:00 11:00 11:30 12:00~20:00 20:30~	起床 準備 朝食 フロントに集合 昼食 練習 全員で夕食/買い物/ミーティング
21日 (金)	6:00 6:50 7:05 10:35 12:00 15:00 17:00 19:00~	起床 ホテル朝食 荷物をもってキーカウンター前ホールに集合 送迎バスにて空港へ移動 シンガポール・チャンギ国際空港発 ターミナル 2 (M I-348 便) ペナン空港着 (1時間 25分) 送迎ミニバス 2台 Prince of Wales Island International School 着 Team Managers Meting 夕食/買い物/ミーティング
22日 (土)	7:00 10:00 14:30 15:00 19:30 20:00	起床 朝食 オープニングセレモニー 男子オープンサーブル試合 女子U-15 サーブル試合 表彰式 夕食 (デリバリー) /ミーティング
23日 (日)	7:00 14:30 15:00 19:30 20:00	起床 朝食 女子オープンサーブル試合 男子U-15 サーブル試合 表彰式 大会終了 夕食/買い物/ミーティング
24日 (月)	7:00	起床 朝食 チェックアウト

	12:00 18:00 19:25 22:45	社会見学（蝶園） 昼食 ペナン空港発（MI-351）（1時間25分） シンガポール・チャンギ国際空港着ターミナル2 シンガポール・チャンギ国際空港着ターミナル3（SQ-636） （約7時間0分）
25日 （火）	6:45	羽田着 解散

7. 競技成績

U-15 サーブル 個人戦

男子	加藤 響	1位	女子	長崎 昇子	1位
男子	西田 亮	2位	女子	安部 聖美	2位
男子	須藤 嶺央	3位	女子	佐藤 めるしい	3位
男子	坪 颯登	3位	女子	種田 悠希	3位

オープン参加サーブル 個人戦

男子	加藤 響	3位	女子	佐藤 めるしい	3位
男子	西田 亮	3位	女子	種田 悠希	3位
男子	坪 颯登	7位	女子	安部 聖美	5位
男子	須藤 嶺央	9位	女子	長崎 昇子	6位

8. 海外キャンプについて

・海外キャンプの練習場は、Z-Elite Fencers Academy をお借りして、Z-fencing club と合同練習を実施した。Z-Elite Fencers Academy は常設のピストが10面あり、備え付けの電気審判器が付いており、いつでも使用できるようになっていた。

現地練習は、10月19日（水）～20日（木）までの2日間であった。

Z-fencing club の選手たちは丁度テスト期間と言う事で、テストが終わった生徒から順次練習場へやって来ると言う事で、全員がそろって練習が始まるわけではなかった。

アップをした後、Z-Elite Fencers Academy の選手との合同ファイティングを実施した。女子選手の1人が軽い肉離れを起こしかけたため、試合に向けて大事を取り練習を休ませた。

20日は、アップをした後、Z-fencing club のコーチの指示により混合チームで団体戦の総当たりを行い、合同練習となるよう取りはからってくれた。合同ファイティングを通して両国の選手同士、互いに打ち解け、写真撮影やアドレスの交換などを行っていた。



9. 試合について

PENANG POWIIS Fencing Championship 2016 はマレーシア・ペナンがU-15の男女全種目とオープン参加の男女全種目を呼びかけて開催されている。

試合会場は、Prince of Wales Island International Schoolの3階、体育室にアルミピストを5ピスト設置した会場で冷房完備の会場での試合となった。

アジア各地から参加されていたが、多くはマレーシア国内のクラブや学校からの参加で、3種目男女合計226人が試合にエントリーしていた。

シンガポールでの合同練習をした成果を、見極めるためペナン大会に出場した結果。U-15では、男女とも日本が1位から3位まで独占し、大学生や社会人も参加するオープン戦でも男女ともに3位に入賞でき、総合優勝する事ができた。

参加した8名の選手の中には、初めての海外遠征で、メダルが取れたのは、いい励みになるし、自信がついたのではないかと思う。

10. 文化視察について

10月24日(月)朝食後、帰国準備をして10:40分学校の正面ロビーに集合。チェックアウト後ミニバス2台に分乗して、蝶園とジョージタウンに向かった。

まず蝶園では、様々な蝶が園内を飛び回り、知らぬ間に肩や頭にとまっていたりした。ただ、蝶園なのに、カエルやサソリ、蜘蛛や蛇なども展示されていたのはびっくりした。昼食には、シーフードレストランで、エビや魚、貝などの料理を堪能し、ペナンを跡にした。

11.所感

- ・ シンガポールは、安心して派遣できる場所として選考されたと思うし、シンガポールのフェンシングはレベルが高く、今回派遣した選手より技術的に少し上ぐらいで、達成感と屈辱感を味わうちょうど良い派遣となることを期待していたと思うが、学校のテスト期間と重なり、試験が終わった選手たちが練習に来ると言う事で、少々期待外れのところもあったが、参加した日本の選手たちは、練習環境も相手も違う中で、いい刺激を受けたものと感じている。
- ・ この派遣は、toto の補助金活用で実施した。選手の渡航費、宿泊費、食費、指導者の謝金、渡航費、宿泊費、食費等には toto の補助金が使われた。中学生が海外選手とフェンシングの技を磨き会う中で、互いに交流し友情も芽生えた。若年層競技者を育成し、国際感覚を身につけさせるという海外研修の目的にかなう事業であったと思う。
- ・ ホテルから練習場（キャンプ地）までは徒歩で移動できる距離だったので、軽く汗をかいたアップとなった。
- ・ 食事は、主にホテル近くの中華料理店や Z-Elite Fencers Academy がある SAFRA 1 階のフードコートを利用した。夕食後は近くのマーケットで、水やお菓子なども買う事が出来て、日本との物価の違いなどを感じることができた。
- ・ ペナンの試合会場では、学校内宿舎に滞在したが、他のチームはホテル滞在をしていた。シンガポールでホテル滞在した後の、ペナンでは学校宿舎だったため、差がありすぎるように感じた。
- ・ 最後に、今回の NAVI サーブル・シンガポールキャンプ及びマレーシア PENANG POWIIS Fencing Championship 2016 派遣に伴い、多くの方にお世話になったことを感謝したい。

